

日本老年学的評価研究（JAGES: Japan Gerontological Evaluation Study）の研究成果についてのプレス発表を下記の通り開催いたしますので、お知らせいたします。（JAGESの概要につきましてはホームページ https://www.jages.net/about_jages/ をご覧ください）

なお今回のプレス発表会につきましても前回と同様「Zoom」を用いてのweb開催とさせて頂き、当日の参加方法等に関しましては、お申し込み後に詳細をご案内いたします。何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

記

1. 開催日時 2022年5月20日（金）12:00～13:00（予定）
2. 場所 「Zoom」（オンラインミーティングアプリ）を用いてのweb開催となります
3. 内容

- ① 329-22-5（奥園桜子）
生きがいを持つと認知症リスクが0.69倍、幸福感が0.4ポイント増加する
～高齢者の生きがい作りで、高齢者の健康とウェルビーイングを向上の可能性～
- ② 330-22-6（佐藤豪竜）
助け合う地域ではコロナ禍のうつリスク1割減
～高齢者8千人の新型コロナ流行前後の追跡調査～
- ③ 331-22-7（矢澤亜季）
幼少期の逆境体験と高齢期の抑うつを結ぶ経路の7割が成人期の学歴や収入とは無関係
～しかし、学歴や収入に対する介入でその悪影響が軽減される可能性あり～
- ④ 332-22-8（辻大士）
運動・スポーツのボランティアに参加する高齢者の特徴は？
～個人と地域の特徴、計23要因を解明～
- ⑤ 333-22-9（長谷田真帆）
市町村の地域づくりの取り組み支援で高齢男性の3年間の死亡リスク0.92倍に低減
-データを活用した地域包括ケア推進の効果-

※下記⑥のプレスリリースは通常の研究発表とは異なりますが、今回の発表会にて併せて皆さまにご案内させていただきます。

（⑥の資料は発表会にてご案内いたしますのでご了承くださいませ）

- ⑥ 野村不動産株式会社・野村不動産ウェルネス株式会社と千葉大学予防医学センターの2021年度研究成果の報告
—健康増進型・賃貸シニアレジデンス「オウカス」に暮らす人は、
外出・グループ活動に積極的で介護費用を抑制できる可能性を示唆する結果—

4. 発表者 (発表順)	代表 近藤 克則	一般社団法人日本老年学的評価研究 (JAGES) 機構 千葉大学 予防医学センター 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学・評価研究部	代表理事 教授
	奥園 桜子	ハーバード大学	部長
	佐藤 豪竜	京都大学大学院医学研究科	研究員
	矢澤 亜季	ハーバード公衆衛生大学院	助教
	辻 大士	筑波大学	リサーチフェロー
	長谷田 真帆	京都大学	助教
	河口 謙二郎	千葉大学予防医学センター	特定助教 特任研究員

5. 参加申し込み方法

JAGESホームページ（下記URL）の登録フォームからお申し込みをお願いいたします。

【プレス発表会登録フォーム】 https://www.jages.net/about_jages/press/participation/

その他、お問合せ等はこちらで承ります <JAGESプレス係> press.ml@jages.net